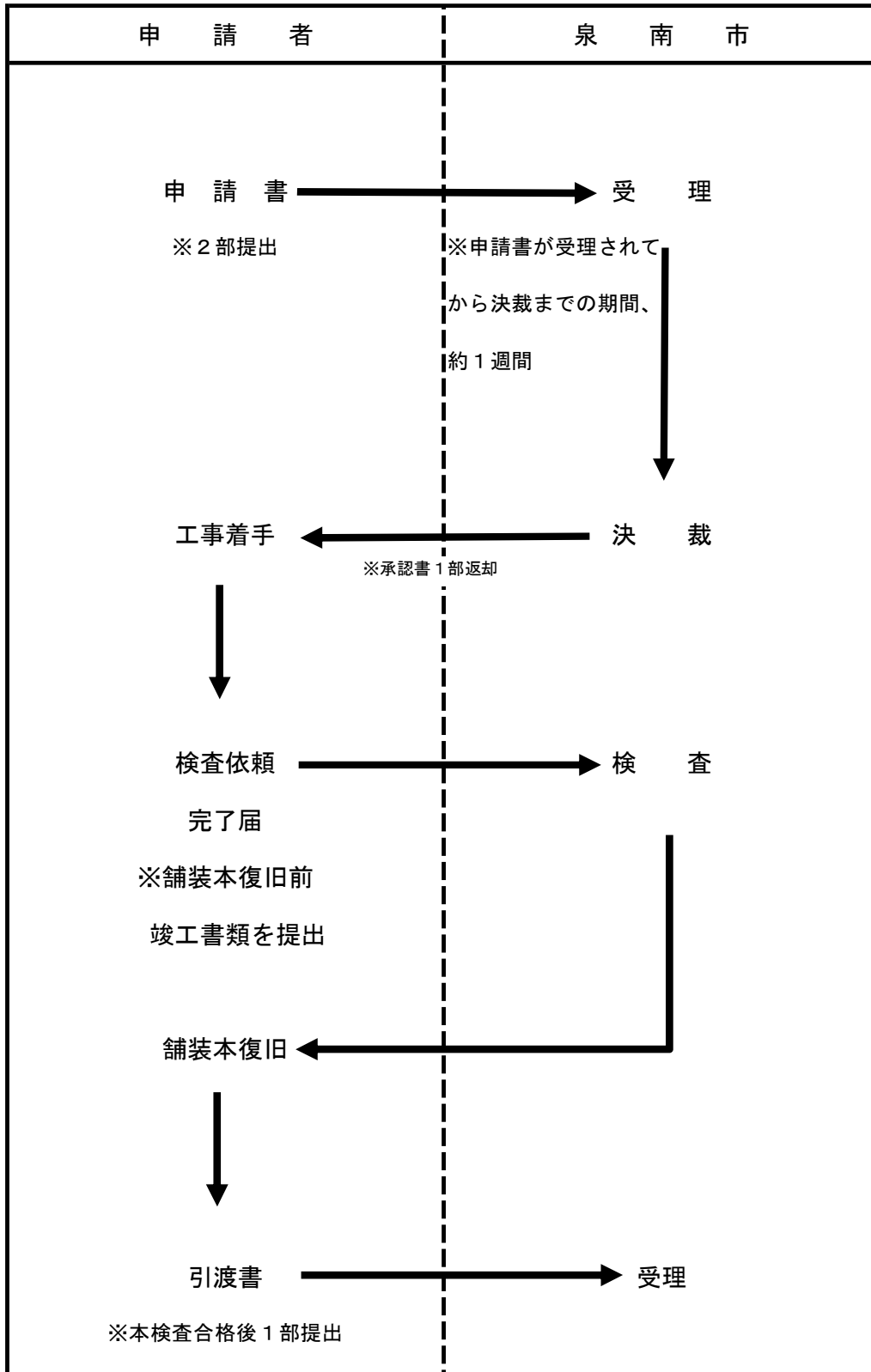


施 工 承 認 提 出 書 類 一 覧 表

添 付 書 類 等	部 数	留 意 事 項 等	
申 請 書	施工承認申請書	2部	別添様式
	位 置 図	2部	縮尺は1/2、500～1/1,000程度とし、施工箇所を明示する。住宅地図の利用も可。
	設 計 図	2部	平面図・縦断図・横断図・構造図 舗装復旧図(仮復旧、本復旧)等。
	工事仕様書	2部	施工方法、施工管理計画等(写真撮影を含む)を記載したもの。
完 了 届	工事完了届	1部	別添様式
	位 置 図	1部	縮尺は1/2、500～1/1,000程度とし、箇所を明示する。住宅地図の利用も可
	竣 工 図	1部	申請時に添付した図面についての竣工図。 (平面図・縦断図・横断図・構造図・舗装復旧図等)
	取付管接続図	1部	別添様式
	施工写真	1部	着工前、竣工後、工程別の施工中の写真。 <u>*施工写真で確認できない場合、完了検査は行いません</u>
	引 渡 書	1部	別添様式

施工承認申請から完了までの流れ



公共下水道施設工事施工承認申請書

令和 年 月 日

泉南市長 様

住所

申請者 氏名

電話

公共下水道の施設を新築・増設・改築したいので、次のとおり工事の施工承認を申請します。

設置場所	泉南市
工事を必要とする理由	
排水面積	
施設の内容	
工事期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
施工業者	住所
	会社名
	担当者 電話
受益者負担金	納付済・未納 *未納の場合、納付確認後申請を許可します。

添付書類 1. 施設場所を表示した位置図
2. 施設の設計図
3. 工事仕様書

次の欄は記入しないこと。

受付	第 号	確認	第 号
	令和 年 月 日		令和 年 月 日
備考			受領印
			月 日

施工内容 (参考)

(1) 準備工

工事着手時に基準測量、縦断測量を行い各引照点を控え、仮B.Mを設定し、最後まで保存致します。また着工前の全景を写真に収め保存いたします。

(2) 土工

床堀は、0.1 m³級及び0.2 m³級バックホウ機械掘削とし、掘削底面を乱すことのないように作業し、底面部は人力にて不陸整正し、タンパ等で転圧します。

埋戻しは、各層ごとに十分に締固め、構造に影響する埋戻しは、埋戻しの順序及び締固めにあたって構造物に被害を与えないよう注意します。

(3) 水替工

掘削中における湧水及び雨水は、掘削面に停留しないよう十分水替を行い、不足の出水等に対して予備機を準備いたします。

掘削完了後、適宜排水溝を設けて水中ポンプにて排水し、放流先に土砂等が流出しないよう沈殿槽を設けます。

(4) マンホール設置工

基礎碎石は $t = 200$ とタンパ (60~100 kg) にて十分に締固めます。

各ブロックをトラッククレーン (4.8~4.9 t) にて吊り込み基準高方向をその都度確認します。各ブロック継手は漏水のない様丁寧にシーリングを施工し、緊結金具にて強固に締固めます。また、鉄蓋は調整リング調整金具(特殊モルタル)を用いて所定の位置に据えます。

(5) 管布設工

別紙図面のとおり砂基礎部分は、不等沈下を生じないように入念に施工し、埋設管天端から上部30 cm及び管底から下部10 cmで埋戻し下水道表示テープを埋設致します。

管の布設にあたっては、飲み込み口側にソケットを向け基礎の上に通りよく丁寧に据付、管の下面及びカラー周辺の空隙のない様、又、漏水のない様注意して施工します。

埋戻しにあたっては、管渠を損傷しない様留意し、左右均等に層状に締固めます。

(6) 土留工

一次掘削 (約90 cm程度) が完了したら直ちに鋼矢板を建て込み、腹起こし材を設置し背面の土砂が変位しない様に水圧式サポート土留めを完了させます。

掘削が進むにつれて鋼矢板を下げて所定の深さまで到達させます。

梁の撤去や、矢板の撤去は所定の埋戻しが完了してから撤去します。

(7) インバート工

上流管、下流管の落差、流入、流出方向に注意しながら下流管勾配でコンクリートを打設します。インバートは下地コンクリートの施工後、左官工にて1：2のモルタルを使用し、設計図書に基づき通り良くきれいに仕上げます。

(8) 残土・残塊処分

発生した残土・残塊は仮置後、残土・残塊は、バックホウにてトラックに積み込み、残土及び残塊を最終処分地まで運搬し適正に処分します。

運搬途中での散乱・飛散のない様表面にシートを掛け、走行する道路を土砂等により汚さない様努めます。

その際運転手には交通事情をよく説明し、過積載、事故等トラブルのない様努めます。

(9) 汚水柵設置工

柵は塩ビ製を使用し、据付の際沈下しない様砂基礎を十分つき固め水平に動かない様しっかりと据付け、ゴム輪受口用の支管・取付管を漏水のない様確実に取付けます。

柵の向きや深さは、本管と宅地内の排水設備の系統との位置関係を計算に入れて定め、宅地内の最上流部で土被り20cmとし、そこから宅地内を一定勾配で下流の汚水柵まで導く距離によってその深さを定めます。

(10) 舗装復旧工

路盤材料の敷均しにあたっては、施工面の不純物を取り除き、材料の分離を避け均等に過不足のない様敷均し、一層の仕上げ厚さが所定の厚みを超えない様にします。

表層工においては、合材の運搬は平滑なる荷台を有するダンプによって行い、舗装に先立って路盤の浮石その他の有害物を取り除き乳剤を散布します。

合材の到着時の温度、敷均し時の温度、初期転圧時の温度を管理し良好な品質管理に努めます。

一層の仕上がり厚さが7cm以下になる様に行い、所定の密度が確保できる様コンバイン・

タイヤローラー・振動コンパクター等で十分に締固めます。

掘削範囲より50cmの影響範囲を取り、本復旧致します。

尚、復旧範囲は泉南市道路課と立会の上で最終決定いたします。

公共下水道施設工事完了届

令和 年 月 日

泉南市長 様

住所

届出人 氏名

電話

次の通り下水道法第16条に基づく公共下水道施設の工事が完了しましたからお届けします

施設場所	泉南市
承認番号	第 号
施設の内容	
完了年月日	令和 年 月 日

次の欄は記入しないこと。

受付	第 号	検査日	令和 年 月 日
	令和 年 月 日	検査結果	合格 ・ 不合格
備考	備考 添付書類 ・施工箇所図 ・取付管接続図 ・施工写真 ・竣工図	各一部	

写真撮影

すべて確認可能な写真を提出する事

(申請時チェックした項目の写真を提出しなかった場合は、検査及び引取は行わない。)

人孔設置工		管布設工		汚水柵設置工(管接続)	
全人孔		1スパン1箇所		全汚水柵(引込含む)	
着工前		着工前		着工前	
舗装版取壊		舗装版取壊		舗装版取壊	
掘削工		掘削工		掘削工	
矢板設置		矢板設置		既設管状況(既設管の土被り)	
砕石基礎出来形		砂基礎出来形(管下10cm)		矢板設置	
底版設置		管渠同士の接続(接着剤塗布)		本管削孔状況(削孔前、中、後)	
躯体設置		管渠布設工(布設管の土被り)		接着剤塗布	
躯体と管渠の接続		保護砂出来形(管上30cm)		支管設置	
直壁設置		埋設テープ(下水道用)設置		番線設置(ロック式使用時は不要)	
斜壁設置		埋戻(転圧厚さ30cm)		砂基礎出来形(管下10cm)	
調整リング設置		矢板撤去		管渠同士の接続(接着剤塗布)	
人孔蓋設置		路盤出来形		管渠布設工(布設管の土被り)	
無収縮モルタル打設		仮復旧		汚水柵設置工	
人孔出来高		完了		保護砂出来形(管上30cm)	
埋戻(転圧厚さ30cm)		その他()		埋設テープ(下水道用)設置	
矢板撤去				埋戻(転圧厚さ30cm)	
路盤出来形				矢板撤去	
仮復旧				路盤出来形	
完了				仮復旧	
その他()				完了	
				その他()	

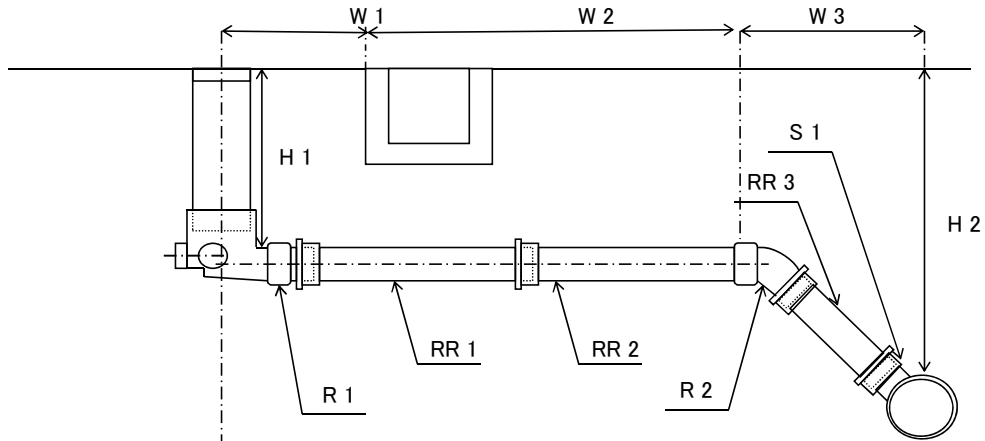
写真撮影

すべて確認可能な写真を提出する事

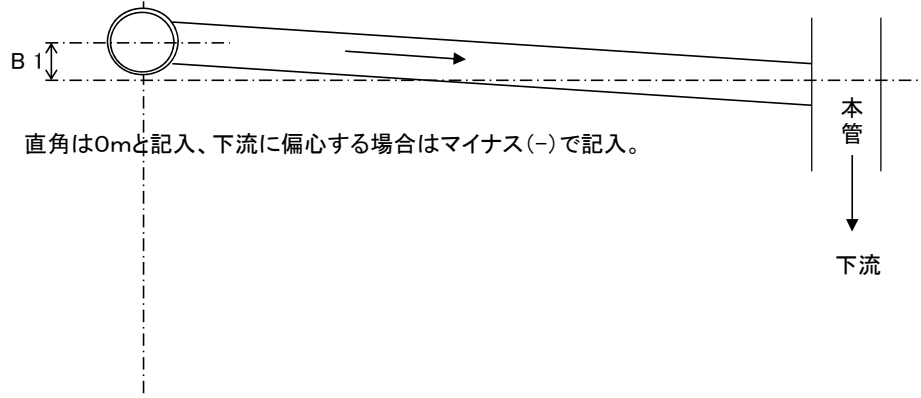
(申請時チェックした項目の写真を提出しなかった場合は、検査及び引取は行わない。)

人孔設置工		管布設工		污水柵設置工(人孔接続)	
全人孔		1スパン1箇所		全污水柵(引込含む)	
着工前		着工前			
舗装版取壊		舗装版取壊		舗装版取壊	
掘削工		掘削工		掘削工	
矢板設置		矢板設置		既設人孔状況	
砕石基礎出来形		砂基礎出来形(管下10cm)		(掘削後、削工前の躯体の状況)	
底版設置		管渠同士の接続(接着剤塗布)		矢板設置	
躯体設置		管渠布設工(布設管の土被り)		人孔削孔状況(削孔前、中、後)	
躯体と管渠の接続		保護砂出来形(管上30cm)		人孔接続状況	
直壁設置		埋設テープ(下水道用)設置		副管設置状況(設置及び防護)	
斜壁設置		埋戻(転圧厚さ30cm)		砂基礎出来形(管下10cm)	
調整リング設置		矢板撤去		管渠同士の接続(接着剤塗布)	
人孔蓋設置		路盤出来形		管渠布設工(布設管の土被り)	
無収縮モルタル打設		仮復旧		污水柵設置工	
人孔出来高		完了		保護砂出来形(管上30cm)	
埋戻(転圧厚さ30cm)		その他()		埋設テープ(下水道用)設置	
矢板撤去				埋戻(転圧厚さ30cm)	
路盤出来形				矢板撤去	
仮復旧				路盤出来形	
完了				仮復旧	
その他()				完了	
				その他()	

取付管接続図 断面図



平面図



台帳番号			
工事名			
路線番号			
公共污水ます設置場所		泉南市	
申込者(建物所有者)			
住所			
土地所有者			
住所			
設置状況			
W 1	m	H 1	m
W 2	m	H 2	m
W 3	m	B 1	m
R 1 (自在曲管)	使用・不使用	RR 1 (RR直管)	使用・不使用
R 2 (自在曲管)	使用・不使用	RR 2 (RR直管)	使用・不使用
S 1 (支管)	使用・不使用	RR 3 (RR直管)	使用・不使用
引込管接続方法		本管接続・人孔接続	
施工業者			
設置年月日			
市担当者			
備考			

引 渡 書

令和 年 月 日

泉 南 市 長 様

住 所
申請者 氏 名
電 話

令和 年 月 日に申請しました公共下水道施設工事については、完成検査に合格しましたので引渡します。

公共下水道施設工事施工承認申請書(記入例)

令和 年 月 日

泉南市長 様

住所

申請者 氏名

電話

公共下水道の施設を新築・増設・改築したいので、次のとおり工事の施工承認を申請します。

設置場所	泉南市〇〇〇〇丁目〇〇番〇〇号
工事を必要とする理由	開発に伴う公共下水道管布設のため・公共汚水柵引込のため等
排水面積	申請地の敷地面積を記入 〇〇. 〇〇m ²
施設の内容	污水管布設 Φ〇〇mm L=〇〇. 〇〇m(人孔芯から人孔芯)
	取付管布設 Φ〇〇mm L=〇〇. 〇〇m(本管から汚水柵芯まで)
	〇号人孔 〇箇所 ・ 汚水柵 〇箇所
工事期間	令和 年 月 日から
	令和 年 月 日まで
施工業者	住 所
	会社名
	担当者 電 話
受益者負担金	納付済 ・ 未納 *未納の場合、納付確認後申請を許可します。

- 添付書類
1. 施設場所を表示した位置図
 2. 施設の設計図
 3. 工事仕様書

次の欄は記入しないこと。

受付	第 号	確 認	第 号
	令和 年 月 日		令和 年 月 日
備考			受領印
			月 日

公共下水道施設工事完了届(記入例)

令和 年 月 日

泉南市長様

住所

届出人 氏名 申請者の住所・名前・電話を記入

電話

次の通り下水道法第16条に基づく公共下水道施設の工事が完了しましたからお届けします。

施設場所	泉南市〇〇〇〇丁目〇〇番〇〇号
承認番号	第 号(施工承認申請書下段の受付番号〇-〇)
施設の内容	污水管布設 Φ〇〇mm L=〇〇.〇〇m(人孔芯から人孔芯)
	取付管布設 Φ〇〇mm L=〇〇.〇〇m(本管から污水柵芯まで)
	〇号人孔 〇箇所・污水柵 〇箇所
完了年月日	令和 年 月 日

次の欄は記入しないこと。

受付	第 号	検査日	令和 年 月 日
	令和 年 月 日	検査結果	合格・不合格
備考	備考 添付書類 ・施工箇所図 ・取付管接続図 ・施工写真 ・竣工図	各一部	